

令和4年度 南海医療センターにおける看護職員負担軽減計画

● 看護職員の勤務状況(R4.4.1)

- 病院規模 : 195床(許可病床数195床)
- 看護職員数 : 常勤164名(育休者除く)、非常勤7.7名(常勤換算)
- 週平均勤務時間 : 週39.75時間
- 超過勤務時間 : 週平均1時間
- 平均夜勤回数 : 月平均4.0回 (※2時間未満の夜勤従事を含む)

● 看護職員負担軽減のための取組

- 各病棟へ看護補助者を3～5名配置している。
- 各病棟へ事務業務を行う看護補助者を1名配置(派遣含む)している。
- 看護補助者研修を実施し、技術向上を図っている。
- 各病棟へ担当薬剤師を配置している。
- 各種委員会の開催は業務時間内に行い、時間外勤務の軽減に努めている。

● 看護職員負担軽減に係る目標及び計画

項 目	現 状	目 標 及 び 計 画
看護補助者の増員・業務分担	看護補助者を各病棟に配置し、軽症又は回復期の患者に対して看護補助行為を行うとともに、看護師の補助者として看護補助業務を行っている。主に患者のベッド周囲の環境整備や保清、また配茶など、日常生活のケアは看護師の指示のもと、看護補助者が計画的に実施している。	各病棟に適切な看護補助者の定数を定め、配置することで看護師の負担軽減に努める。
薬剤師の病棟配置・業務分担	病棟薬剤師を配置し充実した服薬指導の実施。抗がん剤ミキシングの調剤室での実施。入院患者の持参薬確認・管理を実施。内服についての疑問点などがあれば、担当薬剤師に相談し、患者への安全な配薬業務を励行している。	JCHO地区事務所と採用活動について連携を取りながら、人材確保に努める。
多職種による役割分担	理学療法士による患者病棟外送迎。 臨床検査技師の夜早朝の検査検体回収業務。 総務企画課(医事)での入院説明及び案内。 新型コロナウイルス感染予防対策として、専従の技能職員による正面玄関での検温実施。	多職種連携として、協働できる業務は話し合い、協力体制を構築しているため、今後も継続していく。
専門資格者の取得	認定看護師4名。(認知症看護1名、感染管理2名、緩和ケア2名。) 認定看護管理者1名。 診療看護師(特定行為研修修了者)1名。	看護職員教育サポート体制の充実、認定看護師の育成。 今年度以降、透析看護認定看護師の育成を計画。また、今年度診療看護師資格取得に向けて1名が大学院に入学した。
時間内の研修の実施	施設基準で定められる年2回の研修(医療安全・感染管理)や、看護部委員会活動、ならびに研修は、業務時間内での実施を徹底している。 昨年度は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、集合研修が開催できなかったが、医療安全・感染管理ともDVDを作成し職員へ配布した。また、視聴後はテストを行い、理解度の把握と視聴の確認を行った。	現行の研修体制を継続し、勤務時間管理を徹底することでワークライフバランスを整える。